

柏市立西原中学校

1学年だより No. 04

5月28日(火)

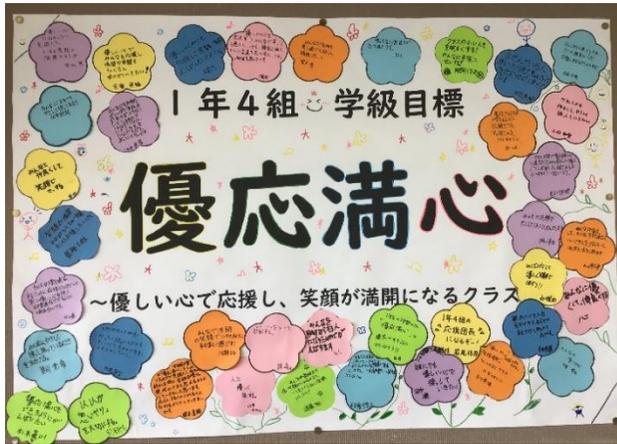
花(はな)夢(ゆめ)



学級目標紹介!

入学してから1ヶ月半が経ちました。本号では、各学級で話し合いの末作り上げた「学級目標」と、学級ごとの個性が表現された掲示物を掲載いたします。

コメントは学級委員の皆さんの学級に対する熱い“思い”です。

<p>1組</p> <p>異致団結</p> <p>いじめのない・居心地がいい・仲良く・感情豊かに・伸び伸び笑顔</p>	<p>2組</p> <p>七転八起</p>	<p>3組</p> <p>だれにてもやさしく・いじめのない・すすんで働くけじめのあるクラス</p>
<p>この学級目標を達成するにおいて大切なことがいくつかあります。「異致団結」という言葉には、個性豊かな友だちとともに、団結して頑張ろうという思いが込められています。クラスが始まって、知らない人もいる中で、団結するというのは難しいかもしれないけれど、仲が良く、友だちがたくさん作れるようなクラスでとても良いなと思いました。このクラスなら、この学級目標を達成できると思います。1年後に仲の良いクラスが作れるように頑張ろうと思います。</p> 	<p>『七転八起』は、七回転んでも八回起き上がって頑張るという意味で、どんなに失敗してもあきらめないで挑戦し続けるという思いから、この学級目標に決めました。学年目標の「協働」・「挑戦」をさらに意識して日々の生活を送っていきたいです。掲示物に描いてある「だるま」はまさに七転八起を象徴する2組のマスコットキャラクターです。2組の全員が、だるまのように何度転んでも立ち直って成長できるようになっていきたいです。</p> 	<p>「だれにてもやさしく」とは、自分のクラスだけでなく、皆に優しくという意味だから、学年目標の「協働」につながると思いました。「いじめのない」は、クラスの一人ひとりの信頼の心につながると思いました。「すすんで働く」は、何かの実行委員に進んで働きたいという思いがあり、挑戦していくことにつながっているのでは?と考えました。「けじめのあるクラス」とは、清掃中、集会中などの話声が少なかったり、この2つに組み合わせ姿勢も1つ1つ切り替えられると思ひ、この学級目標にしました。</p> 
<p>4組</p> <p>優応満心</p> <p>～優しい心で応援し、笑顔が満開になるクラス～</p> <p>4組が優応満心にした理由は、四字熟語「勇往邁進」にある自分の目的、目標に向かって恐れることなく前進するという意味プラス優しい心で応援し、1年が終わる頃には皆が笑顔で解散できるようにという意味を込めてこの学級目標にしました。</p> 	<p>5組</p> <p>新しい自分を見つけよう</p> <p>～個性・協力・仲間～</p> <p>別々の出身校からやってきた人たちが、西原中学校では、それぞれの個性を認め合いお互いに尊重し合おうというのが「個性」です。そして「協力」は苦しいときでもみんなで協力して頑張っていこうというのが理由です。最後の「仲間」という理由は、仲間との思いやりなどを大切にしようということです。これからの1年間で新しい自分を見つけたり、苦手なことに挑戦していきましょう。</p> 	<p>4月初め、学級目標をどのように決めたいかを覚えていますか?まず、一人ひとりがどんなクラスにしていきたいかを考え、そしてその思いを小グループで発表し合い、そして最後にクラス全体の場で皆の意見を共有し、じっくりと話し合った結果作り出された、それが学級目標です。</p> <p>つまり学級目標は、一部の人が決めたものではなく、クラス全員の思いが詰まっている皆のものなのです。クラスが元気なときも、うまくいかないときも、困ったときも、行事を迎えるときも、学級目標が心の拠り所となるはずで。</p> <p>クラスの一人ひとりが学級目標に誇りと愛着をもち、学級目標がクラスをまとめる「愛言葉」となってくれることを期待しています!</p>

